

# 緑生瓦版

樹液こぼなし

子供の頃、夏に森へ出掛け、樹液を巡る昆虫採集にワクワクした経験をお持ちの方は多いと思います。今回はそんな樹液のお話です。一言に樹液と言っても、昆虫が集まるためには条件があり、ただ樹液が滲出しただけではダメなようです。そこに酵母菌が付着し、発酵することで昆虫が好む樹液になります。滲出箇所の白い塊状の部分を見たことがありますか？実はそこが発酵の盛んな場所なのです。こうした樹液にはアルコール分が含まれています。ということは、昆虫も人(私)と同じく酒好き?(笑)ちなみに発酵現象はクヌギ、コナラ…その他、竹でもみられますが、竹には大型昆虫は訪れません。賑わいをみせるクヌギ屋の酒はやはり最高なのです。

調査部

小林 達彦

## 緑生研究所って、どんな会社…? ～ 調査への取り組みの巻 ～

当社では「調査技術の向上」、「新たな知見の習得」を目指して、自主研究にも力を入れています。調査計画の策定から現地調査の実施、論文の作成と皆真剣に取り組んでいます。今回はそんななかから、ふたつのテーマについて紹介します。(調査部 坪山聡)

### CCD カメラによるサシバの餌内容調査



CCD カメラで撮影した抱卵中の雌個体です。3つあった卵も無事に孵化し、今では可愛らしい雛の姿を見ることが出来ます。

CCD カメラを設置しています。巣の位置は高さ約20mです。機材の点検忘れずに、安全第一です。



木登りは得意ダス!!  
任せてください。

SIRTRACK 社製の発信器です。バッテリーはなんとイスラエル製です。

一年間データを記録し、来年の5月14日にシカの首から自動的に脱落します。無事に回収できる場所で脱落してくれるとよいのですが...



発信器を装着しています。5月7日に囲い罠で推定2歳の雄ジカを捕獲しました。発信器装着後は元気に森のなかへ姿を消しました。



### 平成 23 年度ニホンジカ生態調査

2011.07.01

第三十三号

# 写真だよ



テングザルの親子 *Nasalis larvatus*

ボルネオ島でのリバークルーズの際に発見しました。親は人間たちが現れても無関心でしたが、子供は興味深げにこちらを観察していました。ちなみにテングザルはボルネオ島の固有種です。

ラフレシア *Rafflesia pricei*

ブドウ科植物の根に寄生する寄生植物です。花を咲かせるのに2年間かかり、花が咲いたら3日で枯れてしまいます。花の左脇の茶色の塊が「つぼみ」です。群生地では、大小様々な「つぼみ」がみられました。



## アンケートのお願い!

Q. 「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えてください。

Empty rounded rectangular box for survey responses.

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、緑生研究所(坪山)宛に FAX (042-487-4334) でお願いたします。

### 編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。  
第三十四号は、九月一日の発行を予定しています。特集では当社が所属するZPC主催の生物多様性に関するシンポジウムの報告をします。

日本には、夏を涼しく過ごすための昔ながらの知恵や工夫が数多くあります。もちろん、最近の夏の暑さは尋常ではありませんが。音を聞くことで涼を感じる「風鈴」もその一つといえるのではないのでしょうか。風鈴というと南部風鈴と江戸風鈴が有名ですが、ほかにも高岡風鈴や小田原風鈴などがあります。今年の夏は、少し心にゆとりを持ち、日本の風情を感じてみてはいかがでしょうか。

